

CCDタッチ式バーコードリーダ
USBキーボードインタフェース

N1 Series

ご利用の手引き

2.0a 版
(2024 年 12 月)

はじめに

このたびはCCDタッチ式バーコードリーダN1をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
このご利用の手引きは、N1の外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めてN1をご使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがございましたら下記の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいてN1を運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft® Windows®は、米国Microsoft Corporationの、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社

<https://www.barcode.ne.jp>



e-mail : info@barcode.ne.jp



安全上のご注意








ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。



本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味：

- △記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。
- ⊘記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。
- Ⓢ記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
重要：システム設計者へ ◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。	
◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。 ➢ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合	
◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。 事故や故障の原因になります。	
◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。 火災や感電、故障の原因になります。	
◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。 感電の原因となることがあります。	

 注意	
次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。 ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。	

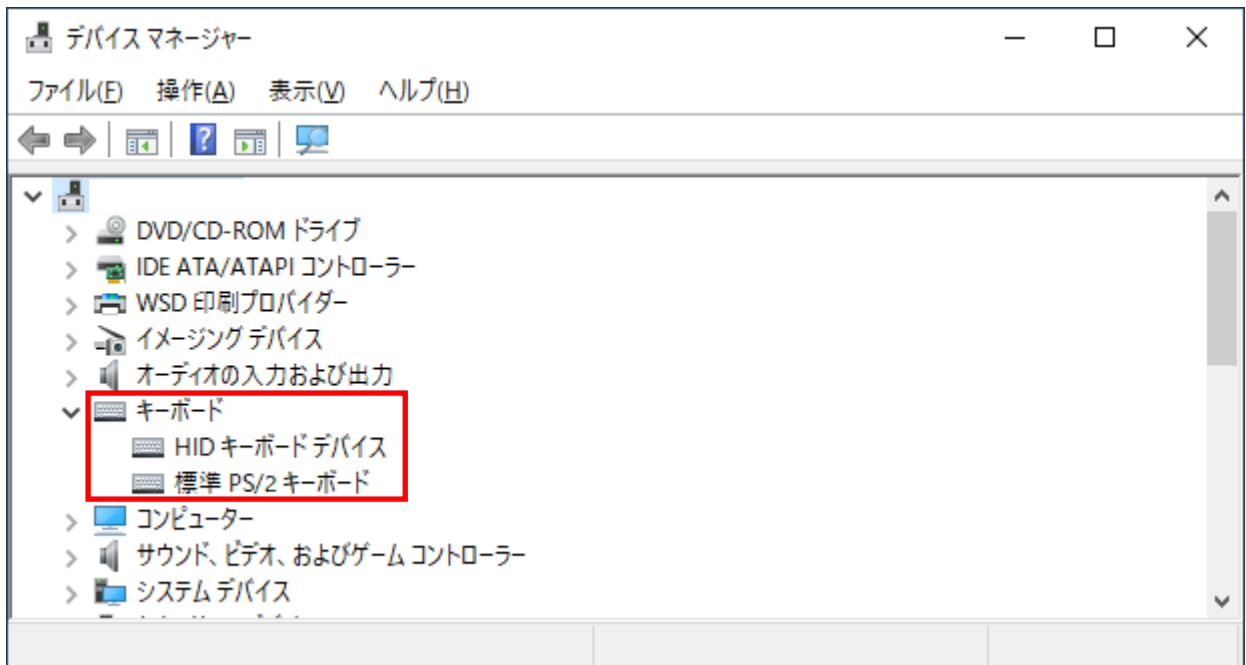
セットアップ

(1) ドライバのインストール

N1 を初めて PC に接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました。」というコメントが PC のディスプレイ右下に数秒間だけ現れドライバのインストールが自動で開始します。

(以前に同じ N1 や同じドライバを使用する他社製品をお使いの PC に繋いだことがある場合は、上記コメントが出ないで接続が完了する場合があります。2・3分経っても何も出てこない場合は、デバイスマネージャー上の「キーボード」の項目に「HID キーボードデバイス」が出来上がっているかご確認頂くかキーボード信号が出力できるエクセルやメモ帳等を開いた上で N1 にて次ページのバーコードを読んでデータが出力されるかご確認ください。

※デバイスマネージャー上の「キーボード」の項目に「HID キーボードデバイス」が出来上がっている場合、その状態で N1 を USB ポートから外して頂き「HID キーボードデバイス」が 1 個消えれば PC 側で N1 が認識されていることとなります。(逆に USB ポートに繋がると「HID キーボードデバイス」が 1 個追加されます)



※デバイスマネージャーがどこにあるか分からない場合

PC ディスプレイ左下の Microsoft のマーク右横の検索の所に「デバイスマネージャー」と入力して頂くと場所が検索できます。



Windows 7 等の場合は、Microsoft のマーク (またはスタート) をクリックして頂くと検索できる所が出てきます。

(2) 読取テスト

文字入力できるアプリケーション（メモ帳など）を起動して、次のテストバーコードを読み取ります。



カーソルの位置に「12345」と入力されていればテスト OK です。セットアップは完了しました。
この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

**※Word 等で読取りテストを行う場合、全角設定になっていると正常にデータが出力されませんので
設定が半角になっているか確認の上、読取テストを行ってください。**

また、設定を半角にしたにも関わらず何故か全角でデータが出力される場合は、N1を繋げたまま
でPCの再立ち上げを一度行ってみてください。

設定手順

- (1) 「開始」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピッ」と音が鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。
- (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「ピッ」と1回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。
- (3) パラメータによっては、16進で数値を指定します。その場合は、16進設定バーコードを読み取った後、そのページの「終了」バーコードを読み取ります。
- (4) 必要な設定が終わったら、「終了」バーコードを読み取ります。ブザーが「ピーッ、ピピッ」と3回音が鳴り、設定が終了したことを知らせます。
- (5) 複数のパラメータを変更する場合は、1～4を同様に繰り返します。

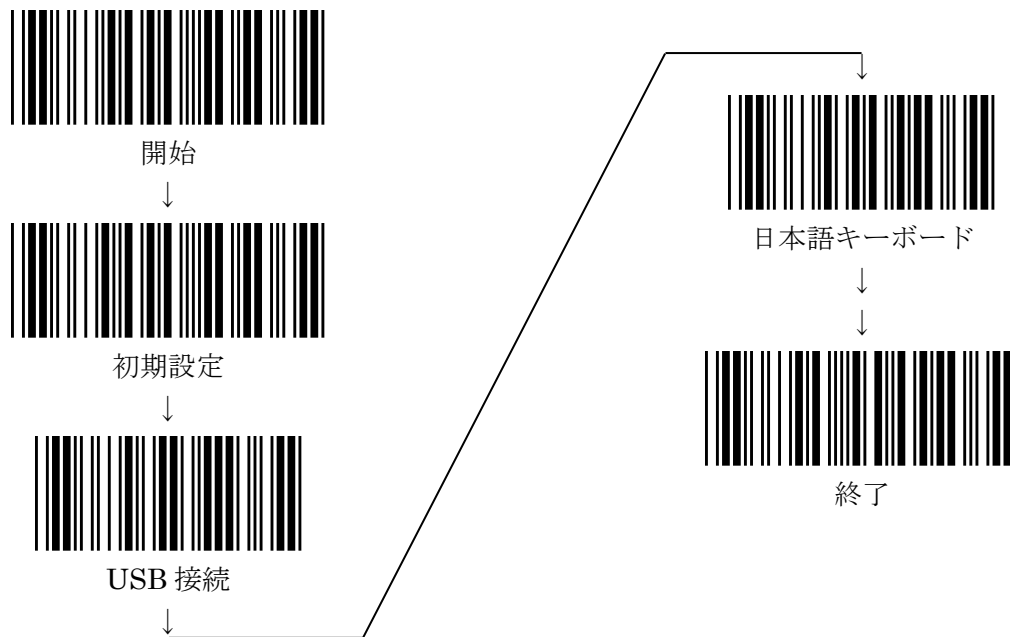
※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度『出荷時設定』に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。（設定したにも関わらず思った設定にならない場合も一度『出荷時設定』に戻してから再度お試してください。どうしてもうまくいかない場合は、1ページ目下の e-mail アドレスに機種名と、どういった設定をしたいかお知らせ頂ければ設定シートを無償にて作成させていただきます。）

※ 16進設定など、複数のバーコードを読み取って設定するパラメータについては、設定の途中で「終了」バーコードを読み取ると設定変更は破棄されますのでご注意ください。

出荷時設定

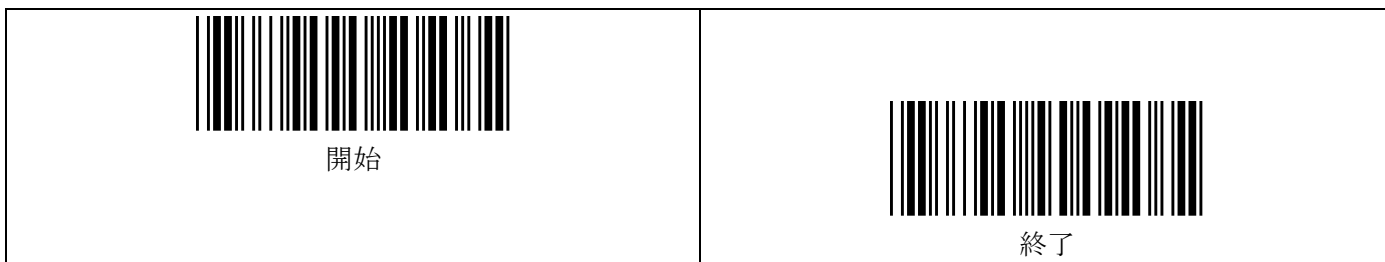
N 1 を出荷時設定に戻すには、次の 5 つの設定バーコードを左上から順に読み取ります。

※ 出荷時に下記設定をしてありますので、通常はそのままでお使いいただけます。

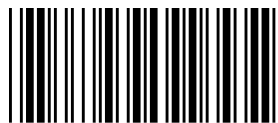


※ 設定バーコードで、下線のついている項目は、上記出荷時設定を行なったときに設定される項目です。

以降の設定は、開始→設定バーコード→終了の順に読み取ります。



ターミネータ（終端文字）の設定



ターミネータなし



Enter

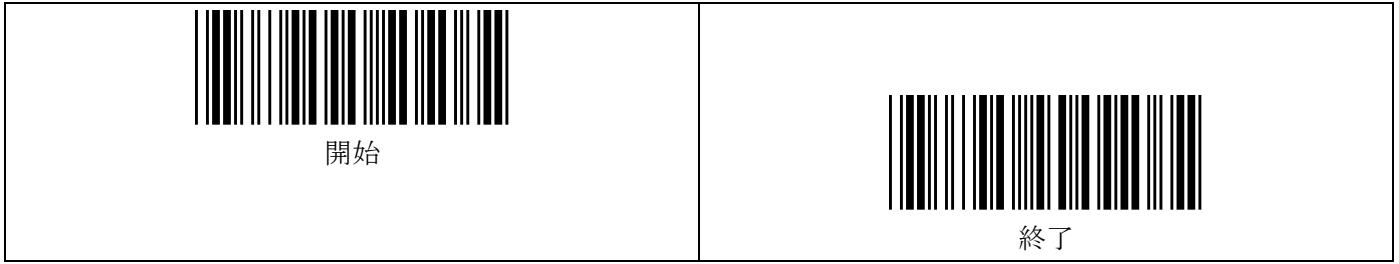


Tab



Esc

※ターミネータ以外にバーコードデータの前後に最大各 10 文字まで付与が可能です。
詳細については P 8 に記載の URL より取扱説明書をダウンロードの上、『プリフィック・サフィックスの設定』の項目をご参照ください。



読取確認音の設定

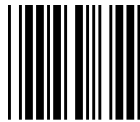
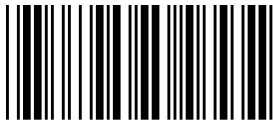


読取り音あり

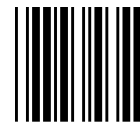


読取り音なし

読取音長の設定（バーコードを2つお読みください）

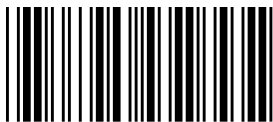


長い



短い

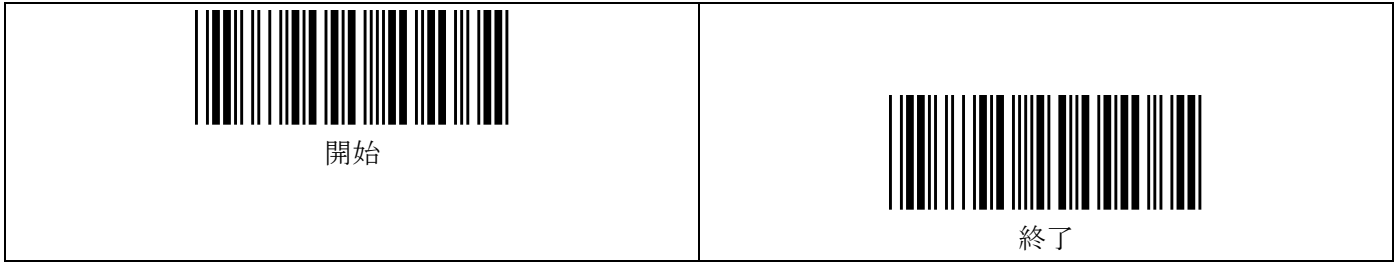
起動音の設定



起動音あり

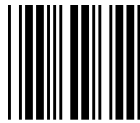
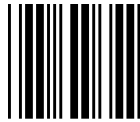


起動音なし

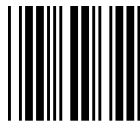
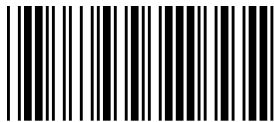


文字送信速度の設定（バーコードを3つお読みください）

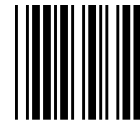
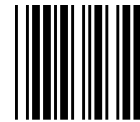
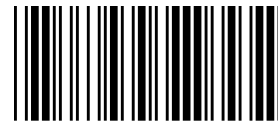
※出力データが桁落ちする場合に有効な設定となります。



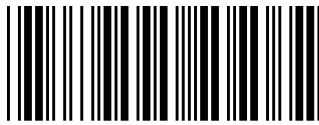
最速



早い



遅い



開始



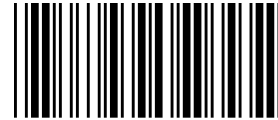
終了

キーボードインターフェースの各種設定

キーボード種類（国別）設定



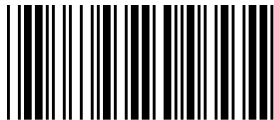
106（日本語）キーボード



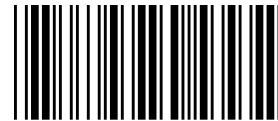
101（英語）キーボード

Caps Lock の設定

『ON』に設定すると、バーコードデータのアルファベットの大文字を小文字に、小文字を大文字に変換します。PCのCaps LockがONになっていて、データの大文字と小文字とが逆になってしまう場合に有効です。



OFF



ON

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- GS1-Databar (RSS-14)
- コード 39（フル ASCII を除く）
- コーダバー（NW7）
- コード 93
- コード 128（GS1-128 を含む）
- インタリーブド 2 オブ 5（ITF）

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社WEBサイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷して設定してください。

- コード 39 フル ASCII
- コード 11
- インダストリアル 2 オブ 5
- MSI/Plessey
- マトリクス 2 オブ 5

※ その他の詳細設定については、弊社WEBサイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。

<https://www.barcode.ne.jp/download/1201.html>